

 **2017年度決算説明資料**

アイペット損害保険株式会社（証券コード：7323）

2018年5月11日



# 決算ハイライト



## 経営成績

経常収益	12,268 百万円 (前年度比 <b>+21.8%</b> )
経常利益 (Non-GAAP)	444 百万円 (前年度比 <b>+28.7%</b> )
調整後経常利益 (Non-GAAP)	835 百万円 (前年度比 <b>+25.1%</b> )
保有契約件数	35.5 万件 (前年度比 <b>+18.4%</b> )
調整後経常利益率	6.8% (前年度比 +0.2pt)

▶ 保有契約件数の順調な増加により、増収増益を達成

## 主要指標

### コンバインド・レシオ

正味保険料ベース 87.9% (損害率 39.9%、事業費率 48.0%)

既経過保険料ベース 93.3% (損害率 43.1%、事業費率 50.1%)

▶ 損害率は前年度に比べ、やや上昇も事業費率が低下し、概ね想定通り

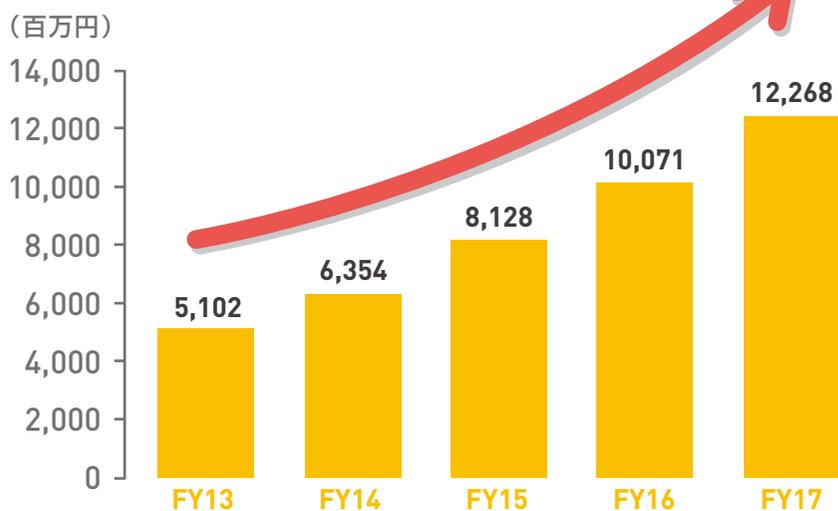
ソルベンシー・マージン比率 284.8% (前年度比 ▲30.8pt)

▶ 特別損失や、繰延税金資産取崩しの影響でリスクの伸びに対して、マージンの伸びが下回ったため前年度から低下

(単位：百万円)

	FY16	FY17	前年度比
経常収益	10,071	12,268	+21.8%
経常利益	345	444	+28.7%
当期純利益	271	▲81	—
調整後経常利益*	668	835	+25.1%
調整後当期純利益**	594	309	▲47.9%

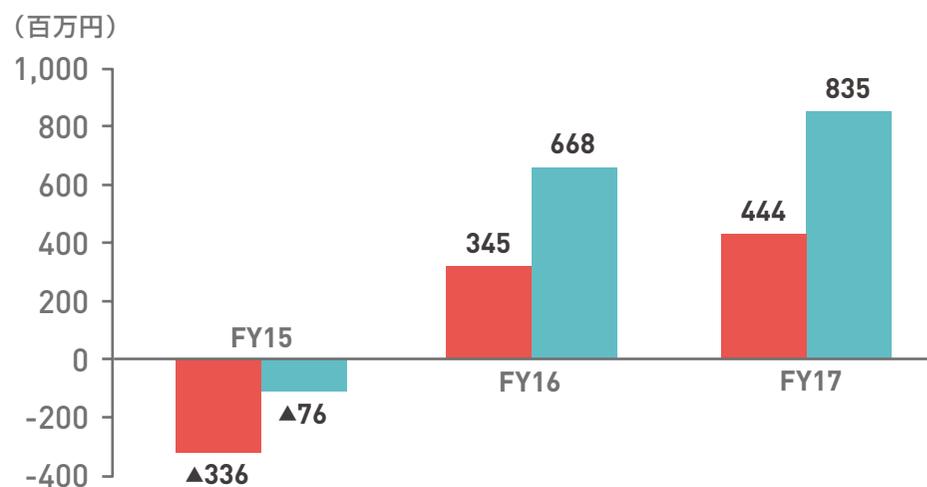
## 経常収益の変化



\* 調整後経常利益 = 経常利益 ± 異常危険準備金影響額

\*\* 調整後当期純利益 = 当期純利益 ± 異常危険準備金影響額

## 経常利益(左) / 調整後経常利益\*(右)の推移



(単位：百万円)

利益の推移		FY15	FY16	FY17
Non-GAAP	A) 調整後経常利益(未経過)(=B+C)	▲76	668	835
	B) 経常利益(未経過)	▲336*	345	444
	C) 異常危険準備金影響額	260	322	391
J-GAAP	D) 経常利益(収支残)	307	297	561

\* 未経過保険料の算定方法を純保険料を基礎とした1/24法(月央基準)から、営業保険料を基礎とした1/12法(月末基準)に変更

- 当社は、経営者が意思決定する際に使用する社内指標(Non-GAAP: 未経過保険料方式)と日本基準(J-GAAP: 初年度収支残方式)に基づく指標の双方で経営成績を開示\*\*
- 経営管理用の利益指標として、調整後経常利益(=未経過保険料方式の経常利益±異常危険準備金影響額)を設定
- 異常危険準備金は、異常災害による損害の填補に備えるため、事業年度ごとに収入保険料に3.2%を乗じた金額を責任準備金として負債計上する必要がある(保険業法施行規則第70条1項2号)\*\*
- 今後も業績予想は「Non-GAAP: 未経過保険料方式」のみで開示

\*\* 上場企業のうち、初年度収支残方式に基づく損害保険会社は当社以外は存在しない

\*\*\* 当社の損害率(39.9%、2017年度)が大蔵省告示第232号第2条の別表で記載されている基準損害率50%を下回るため



Non-GAAPベースの

実績



(単位：百万円)

	FY16	FY17	前年度比	
<b>経常収益</b>	<b>10,071</b>	<b>12,268</b>	<b>+21.8%</b>	
保険引受収益	10,067	12,212	+21.3%	保有契約件数(前年度比+18.4%)の拡大に伴い順調に増加
資産運用収益	4	50	+1,108.9%	資産運用の拡大に伴う増加 株式売却19百万円、配当30百万円等
その他経常収益	—	6	—	
<b>経常費用</b>	<b>9,725</b>	<b>11,823</b>	<b>+21.6%</b>	
保険引受費用	5,803	7,100	+20.3%	保有契約件数の拡大に伴う保険金等の増加
営業費及び一般管理費	3,921	4,713	+20.2%	
その他経常費用	0	9	+3,025.3%	
<b>経常利益</b>	<b>345</b>	<b>444</b>	<b>+28.7%</b>	
<b>特別損失</b>	<b>6</b>	<b>258</b>	<b>+4,025.5%</b>	基幹システム開発遅延に伴う特別損失(256百万円)を計上
<b>税引前当期純利益</b>	<b>339</b>	<b>186</b>	<b>▲45.1%</b>	
<b>法人税等合計額</b>	<b>67</b>	<b>267</b>	<b>+297.2%</b>	繰越欠損金の期限切れに伴い繰延税金資産の取崩し(102百万円)を計上
<b>当期純利益</b>	<b>271</b>	<b>▲81</b>	<b>—</b>	

## 主な勘定項目の増減理由

保有契約件数(前年度比+18.4%)の拡大に伴い順調に増加

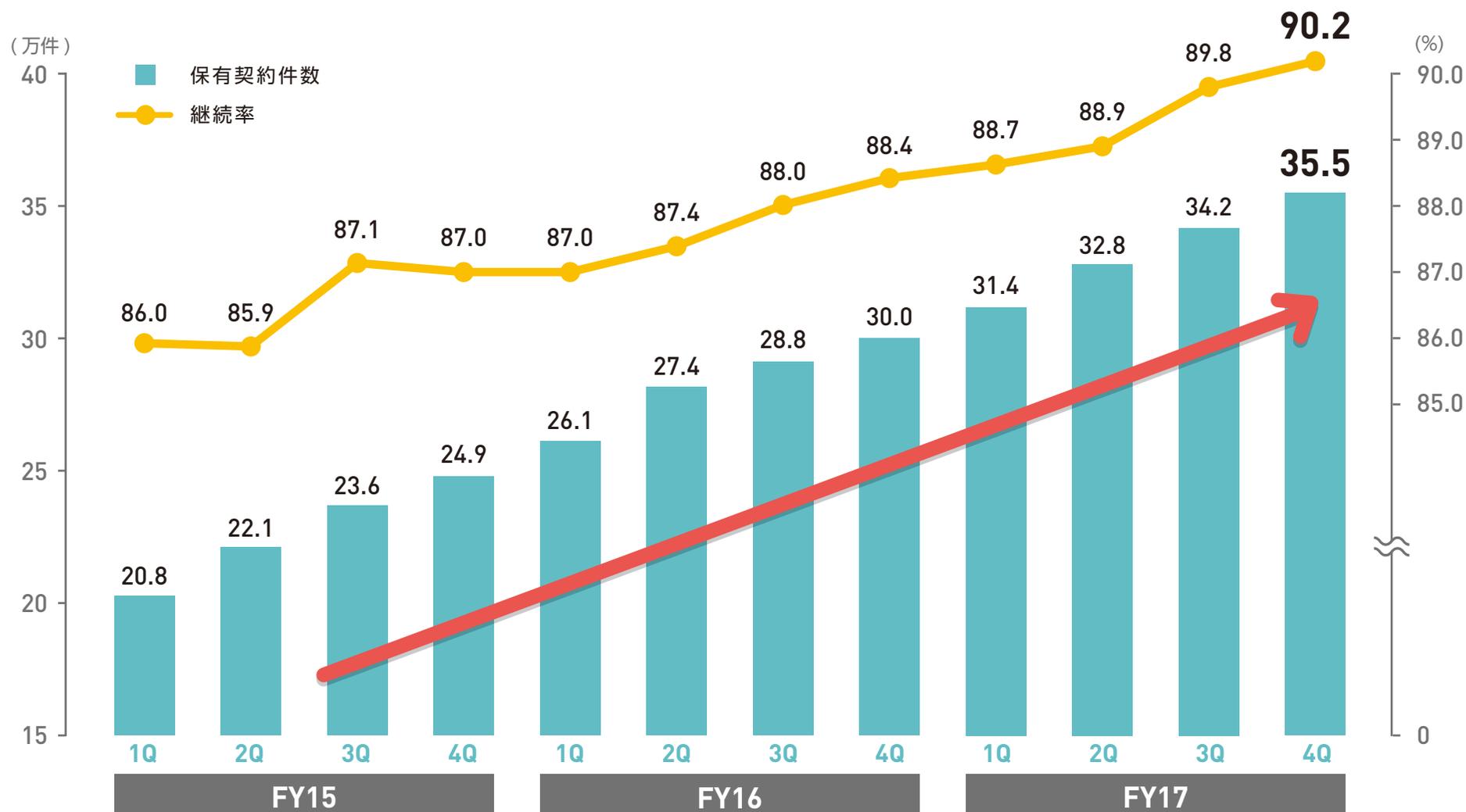
資産運用の拡大に伴う増加  
株式売却19百万円、配当30百万円等

保有契約件数の拡大に伴う保険金等の増加

基幹システム開発遅延に伴う特別損失(256百万円)を計上

繰越欠損金の期限切れに伴い繰延税金資産の取崩し(102百万円)を計上

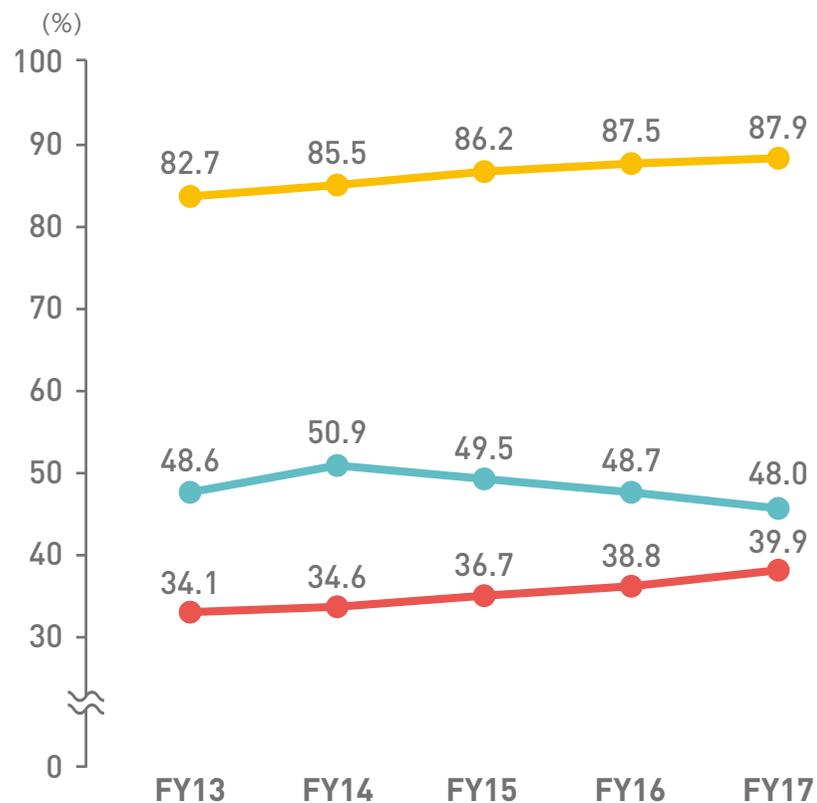
- 保有契約件数は順調な拡大を続け 2018 年 3 月末で 35.5 万件を突破
- 継続率は 2018 年 3 月末で 90.2% と安定的に改善傾向



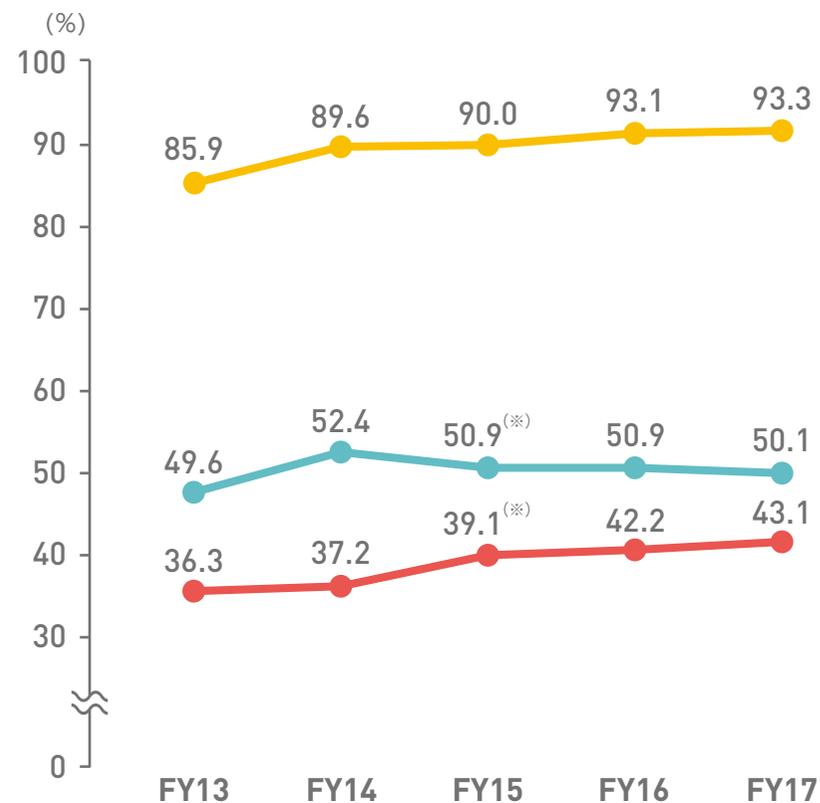
- ・ 損害率はペット年齢上昇、医療費の値上がり、認知度・利便性向上とともに徐々に上昇
- ・ 事業費率は業務効率化により、FY14 をピークに低下中

● コンバインド・レシオ   
 ● 事業費率   
 ● 損害率

## 正味保険料ベース

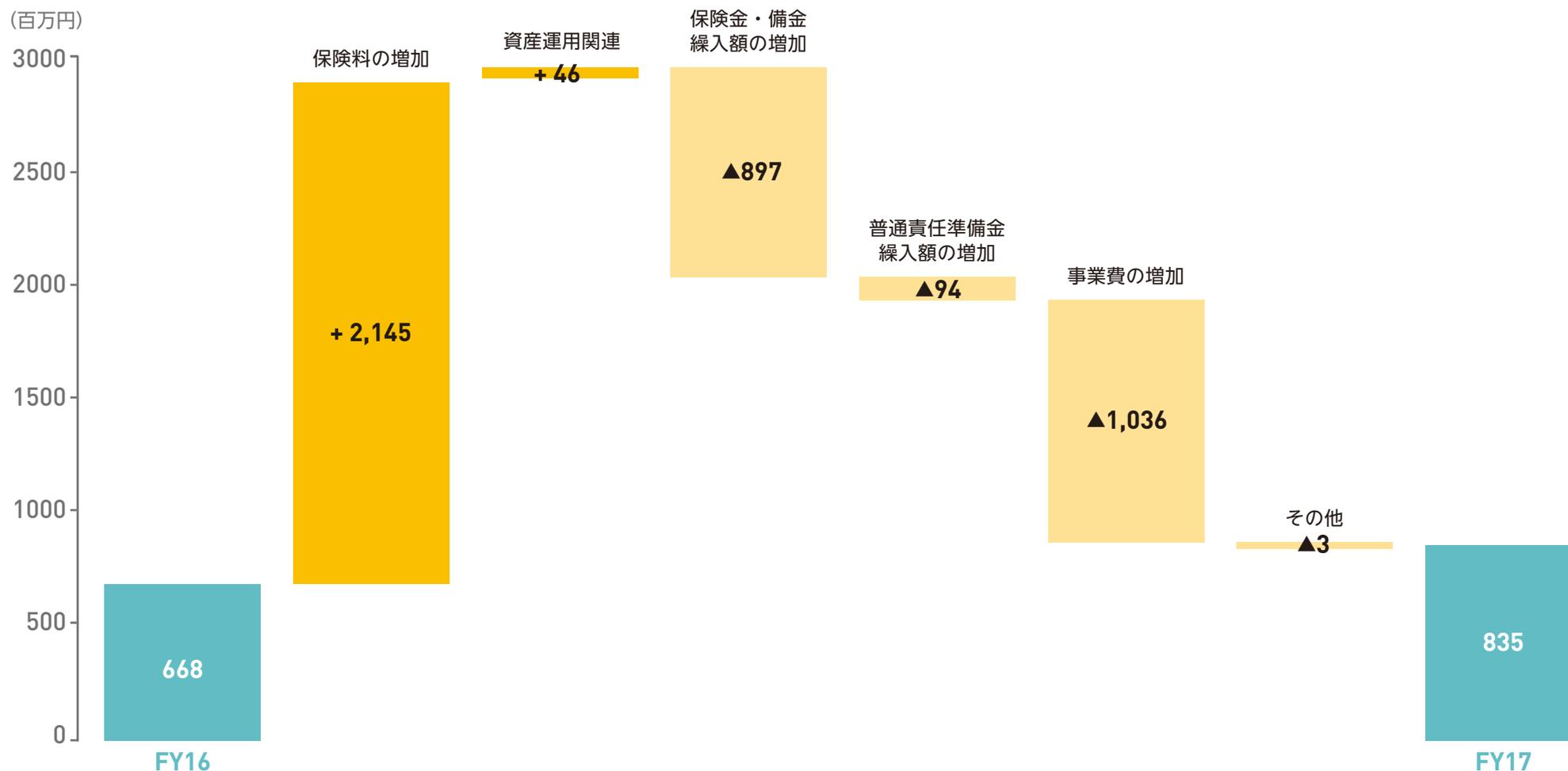


## 既経過保険料ベース (E/I)



(※) 未経過保険料の算定方法を純保険料を基礎として 1/24 法 (月央基準) から営業保険料を基礎とした 1/12 法 (月末基準) に変更記載の数値は変更前のもので、変更後の方法により算定した場合の損害率は 44.0%、事業費率は 57.2% である。

保険金支払や事業費が増加したものの、それを上回る保険料収入の増加があったため、調整後経常利益は前年度から167百万円の増加





J-GAAPベースの

実績



# 要約損益計算書 (J-GAAP:初年度収支残方式)

(単位：百万円)

	FY16	FY17	前年度比
経常収益	10,071	12,268	+21.8%
保険引受収益	10,067	12,212	+21.3%
資産運用収益	4	50	+1,108.9%
その他経常収益	—	6	—
経常費用	9,773	11,706	+19.8%
保険引受費用	<b>5,851</b>	<b>6,983</b>	+19.3%
営業費及び一般管理費	3,921	4,713	+20.2%
その他経常費用	0	9	+3,025.3%
経常利益	<b>297</b>	<b>561</b>	+88.7%
特別損失	6	258	+4,025.5%
税引前当期純利益	<b>291</b>	<b>303</b>	+4.1%
法人税等合計額	<b>94</b>	<b>271</b>	+185.3%
当期純利益	<b>196</b>	<b>32</b>	▲83.5%

※太字は、Non-GAAP と数字が異なる部分

# 要約貸借対照表 (J-GAAP: 初年度収支残方式)

(単位: 百万円)

	FY16	FY17	前年度比
<b>資産合計</b>	<b>8,179</b>	<b>9,250</b>	<b>+13.1%</b>
現金及び預貯金	5,113	4,666	▲8.7%
有価証券	683	2,160	+215.9%
繰延税金資産	278	84	▲69.8%
その他資産	2,103	2,339	+11.2%
<b>負債合計</b>	<b>5,293</b>	<b>6,347</b>	<b>+19.9%</b>
保険契約準備金	4,601	5,560	+20.8%
うち支払準備金	632	794	+25.7%
うち責任準備金	3,969	4,766	+20.1%
その他負債	691	786	+13.7%
<b>純資産</b>	<b>2,886</b>	<b>2,902</b>	<b>+0.6%</b>
資本金*	3,314	3,315	+0.0%

## 主な勘定項目の増減理由

### 資産運用の拡大に伴う増加

FY17 公社債 303百万円、外国証券 200百万円、その他証券 1,656百万円

繰越欠損金の期限切れに伴い繰延税金資産の取崩し(102百万円)を実施

### FY17の主な構成

未収収益 735百万円、未収保険料 723百万円、ソフトウェア仮勘定 292百万円

### 保有契約の拡大に伴う増加

### FY17の主な構成

未払金 552百万円、賞与引当金 100百万円

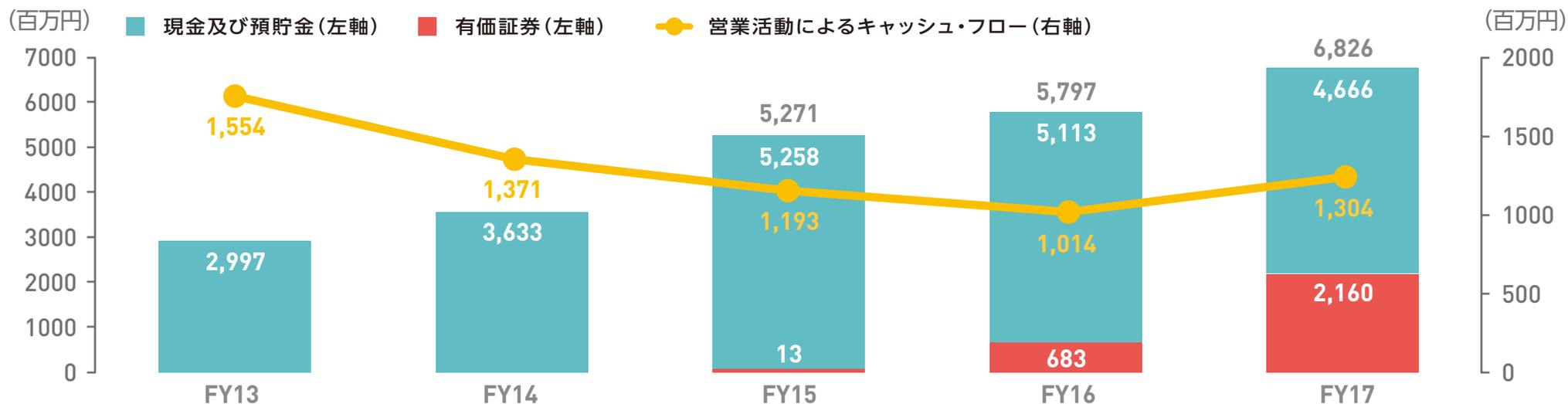
\* 2018年4月25日の上場による公募増資により、資本金は3,905百万円となった

- ・ 営業キャッシュ・フローは安定的にプラスで推移し、FY16 より有価証券への投資に回し収益拡大を図っている

(単位：百万円)

	FY15	FY16	FY17
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,193	1,014	1,304
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲65	▲717	▲1,846
財務活動によるキャッシュ・フロー	498	▲1	▲4
現金及び現金同等物の増減額	1,626	294	▲547
現金及び現金同等物期首残高	1,592	3,218	3,513
現金及び現金同等物期末残高	3,218	3,513	2,966

## 営業活動によるキャッシュ・フローの推移





# 2017年度 主な取組み



商品	対象	入院	通院	手術	保険料*	補足
<b>うちの子プラス</b> 	<b>犬・猫</b> <b>限定商品</b> ペットショップ 代理店	○	○	○	<b>犬</b> 2,810円 (初月のみ4,700円) <b>猫</b> 2,990円 (初月のみ3,870円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院、通院、手術までフルカバーで病気・ケガの様々な治療に対応</li> <li>70%プラン、50%プランの2種類のプランを選択可能</li> <li>体調を崩しがちな飼い始め1か月は治療費の100%を補償</li> </ul>
<b>うちの子</b> 	<b>犬・猫</b>	○	○	○	<b>犬</b> 2,810円 <b>猫</b> 2,990円	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院、通院、手術までフルカバーで病気・ケガの様々な治療に対応</li> <li>70%プラン、50%プランの2種類のプランを選択可能</li> </ul>
<b>うちの子ライト</b> 	<b>犬・猫</b>	△ (手術を含む 連続した入院)	—	○	<b>犬</b> 930円** <b>猫</b> 710円**	<ul style="list-style-type: none"> <li>高額になりがちな手術補償に特化</li> <li>お手頃な保険料で手術費用の90%を補償(手術1回あたり最高50万円、年間2回まで)</li> <li>ネット経由での加入は10%割引(WEB割)</li> </ul>
<b>うちの子キュート</b> 	<b>鳥・うさぎ フェレット</b> <b>限定商品</b> ペットショップ 代理店	○	○	○	<b>鳥</b> 2,230円 <b>うさぎ</b> 2,810円 <b>フェレット</b> 2,600円	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院、通院、手術までフルカバーで病気・ケガの様々な治療に対応</li> <li>70%プラン、50%プラン、30%プランの3種類のプランを選択可能</li> </ul>

\*年齢0歳、犬は小型犬の場合。うちの子プラス/うちの子/うちの子キュートは70%プラン

\*\* WEB割適用後の保険料



# 乃木坂46を当社イメージキャラクターとして起用

- 2017年10月より乃木坂46を当社イメージキャラクターとして起用し、アイコンとして様々なメディアや販促に活用

## Poster



## Novelty



クリアファイル



モバイルバッテリー

## Campaign LP



- 価格.com 保険アワードペット保険の部 4年連続第1位
- 手術補償特化型部門で5年連続 No.1 を取得



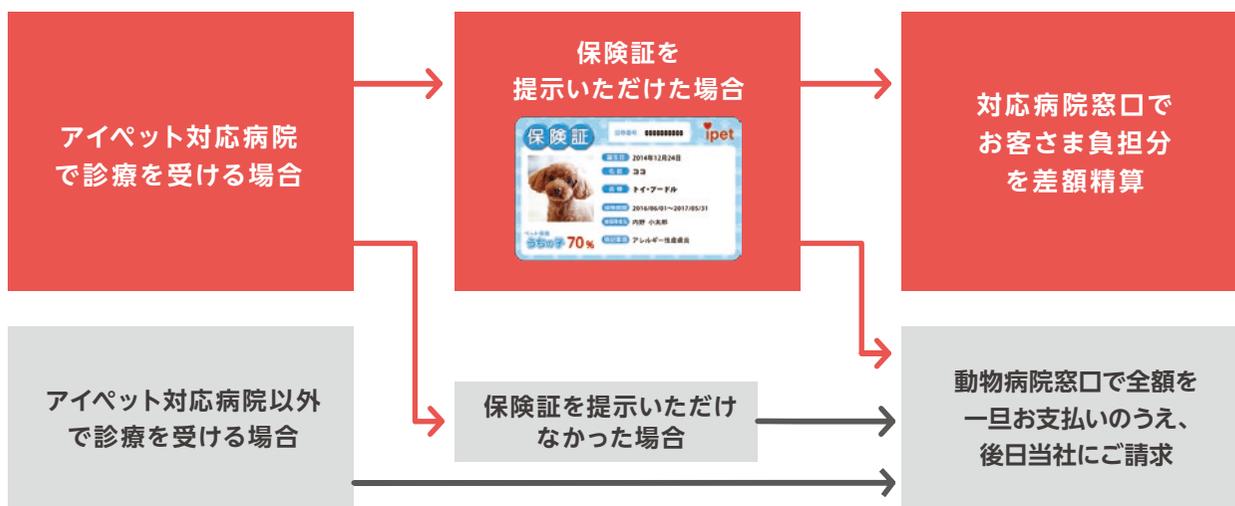
「価格.com保険アワード」とは、  
価格.com保険に掲載されている保険商品を対象に、保険募集代理店  
カカクコム・インシュアランスにおける契約申込数を集計し、保険  
ジャンル別にもっとも申込数が多い保険商品を選出するものです。  
ペット保険「うちの子ライト」は、「ペット保険の部」において、2017年  
1年間でお客さまからの申し込みが最も多い保険商品として第1位を  
獲得しました。



[実査委託先] 楽天リサーチ  
[調査期間] 2014年3月、2015年6月、  
2016年4月、2017年4月、2018年3月  
[対象商品] うちの子ライト

- 2018年4月1日時点で、対応動物病院数は4,421と前年度から300以上増加

## 窓口精算の仕組み

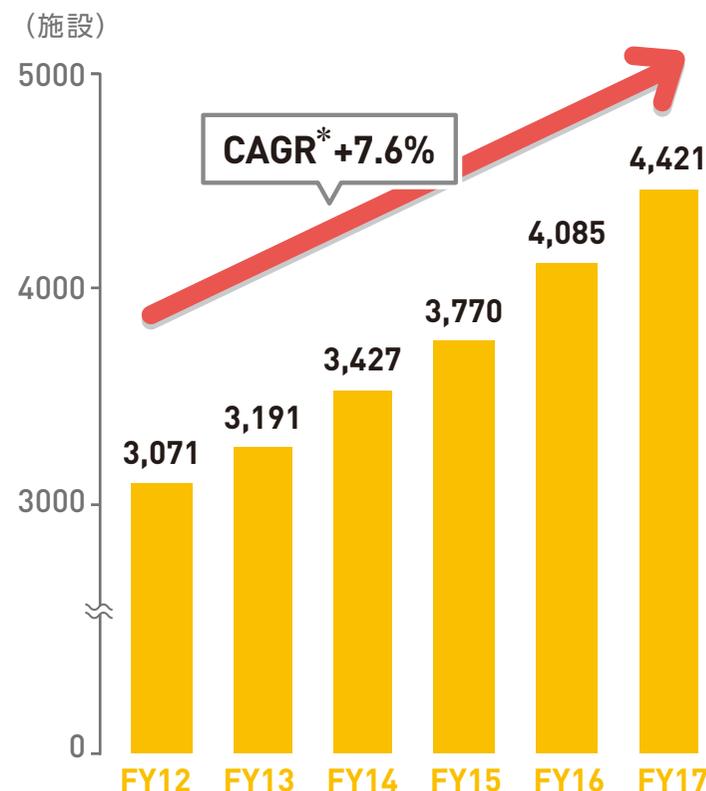


### Ex. 治療費が1万円の場合 (70%プランにご加入の場合)

- ▶ お客さまが窓口で支払う金額：3,000円
- ▶ 当社が動物病院へ支払う金額：7,000円

お客さまは、保険証提示と3,000円のお支払いで手続き完了

## 対応動物病院数の推移



\* Compound Annual Growth Rate (年平均成長率)



2018年度

業績予想について



- 引き続き保有契約拡大により、経常収益は 2017 年度比 18.3% 増を見込む
- 経常利益・調整後経常利益は、引き続き増益
- 税効果の区分変更により、当期純利益も大幅な増益

(単位：百万円)

	FY17 実績	FY18 業績予想	前年度比
経常収益	12,268	14,509	+18.3%
経常利益	444	530	+19.3%
当期純利益	▲81	845	—
調整後経常利益	835	990	+18.5%
調整後当期純利益	309	687	+122.2%



# 補足情報



# 【参考】利益と保険会計の特徴について

- ・ 損害保険会社は、普通責任準備金として未経過保険料残高と初年度収支残高の大きい方を負債計上する必要がある（保険業法施行規則第 70 条 1 項 1 号）
- ・ 当社は、初年度収支残高が未経過保険料残高を上回っているため、会計上初年度収支残方式を使用も、経営管理上は、発生主義に即した未経過保険料方式を使用

## 初年度収支残方式と未経過保険料方式

(前提) ● 期中に一時払で 100 の入金、うち X1 年度末での未経過保険料 50  
● 保険金、事業費はそれぞれ下図の通り



### 初年度収支残方式

	X1年度	X2年度
保険料	100	0
保険金	20	20
事業費	25	25
差引	55	▲45
準備金	55	▲55
利益	0	10

初年度の利益は 0

### 未経過保険料方式

	X1年度	X2年度
保険料	100	0
保険金	20	20
事業費	25	25
差引	55	▲45
準備金	50	▲50
利益	5	5

発生主義による利益

社名	アイペット損害保険株式会社			
本社所在地	〒106-0032 東京都港区六本木1丁目8番7号 MFPR六本木麻布台ビル TEL (代表) 03-5574-8610/FAX 03-5574-8431			
設立年月日	2004年5月11日			
資本金	33億1,533万円 (2018年3月末時点)			
従業員数	363人 (2018年3月末時点)			
役員構成	代表取締役 社長執行役員	山村 鉄平	常勤監査役 (社外)	星田 繁和
	取締役 常務執行役員	田中 聡	監査役 (社外)	野崎 晃 弁護士
	取締役 常務執行役員	工藤 雄太 公認会計士   MBA	監査役 (社外)	島田 容男 公認会計士   税理士
	取締役 常務執行役員	青山 正明		
	取締役	有岡 正裕		
	取締役	原田 哲郎 米国公認会計士   MBA		
	社外取締役	比護 正史 弁護士		
事業所	東京 / 名古屋 / 大阪 / 札幌 / 仙台 / 富山 / 広島 / 福岡 / 青森 (事務センター)			

## 経営理念

ペットとの共生環境の向上と  
ペット産業の健全な発展を促し、  
潤いのある豊かな社会を創る。

## 経営ビジョン

より安心なペットとの生活を共に創る。

## ■将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。
- これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

本資料及び当社IRに関するお問合せ先

アイペット損害保険株式会社 財務経理部

TEL: 03-5574-8615 E-mail: IR@ipet-ins.com